JAC創立１００周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	番外編	(2)記載者氏名:	柳下　棟生	会員番号:	10482	事務局整理記入欄		青函－2
分水嶺区分	青函トンネル龍飛斜坑口～E001龍飛崎突端			(3)山行日:	2005年	9月	20日	(4)天候 晴

(5) 参加者氏名および会員番号

				サポート要員氏名および会員番号			
柳下　棟生	10482						
		計	1 名			計	名

(6) 山行記録・位置確認 (出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略:	青函トンネル龍飛斜坑口から私の踏査未通部分を龍飛崎突端迄綿密に踏査												
ｱﾌﾟﾛｰﾁ:	龍飛崎まで往復路線バス												
地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	トンネル龍飛斜坑口	龍飛崎	140	20	-	41	15	-	･100		13:37		
分水嶺到達点	トンネル龍飛斜坑口												
分水嶺離別点E001	龍飛崎突端												
歩行終了点	龍飛崎突端	龍飛崎	140	20	36.0	41	15	40.0	0	16:05			
										総歩行時間 (休憩時間を除く):			2時間0分

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

青函トンネル龍飛斜坑口のＧＰＳ測位結果は機密保持のため丸めて示す。地形図において河岸段丘上の施設等記載は
現況と全く異なる。昭和63年以降改版なし。

(9) 水および植生に関連した特記事項

(10) その他の特記事項

中央分水嶺踏査は青森支部が龍飛崎まで踏査ずみ。

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: